



2019年10月24日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディ コミュニケーション センター

一貫して電動化を追求：アウディのeモビリティ戦略

(ドイツ本国発表資料)

- 2025年までに30を超える電動化モデルを発売
- 拡張可能なモジュラー構造を備えた4種類の電気自動車専用プラットフォームにより、すべての車両セグメントをカバー
- 人気の高いプラグインハイブリッドは、2019年に製品ポートフォリオをさらに拡大
- 全社一丸となって電動化への移行をサポート

2019年10月7日、インゴルシュタット：アウディは、モデルラインナップの電動化を進めており、広範囲な製品ポートフォリオを備えた電気自動車メーカーへと変貌を遂げています。すべての車両セグメントに電気自動車を提供するため、アウディは4種類のプラットフォームを使用します。現在導入されているプラグインハイブリッドのラインナップも、2019年にさらに拡大する予定です。アウディは、ブランド戦略、セールス組織、生産の面で、堅実かつ迅速に電動化戦略を推進しています。さらに、電気自動車を取り扱うことのできる資格を持った人材の育成も促進しています。

AUDI AG 取締役会会長のブラム ショットは、次のように述べています。「アウディは、電動化の未来を見据えています。私たちの電動化は、Audi e-tron から始まりました。このクルマは、数多くのお客様から高い評価を得ています。私たちは、2025年までに30を超える電動化モデルを発売する予定です。そのうちの20のモデルは電気自動車です。私たちは、日常ユースに適したeモビリティのラインナップを構築しています」

これらの野心的なプロジェクトを実現するために、アウディはグループ全体の相乗効果を活用し、4種類のモジュラーアッセンブリーを使用して電気自動車を開発しています。アウディ初の電気自動車、Audi e-tron SUVは、モジュラーロングチューディナルプラットフォーム (MLB EVO) をベースにしています。2番目のモデル、Audi e-tron GT concept スポーツカーは、2020年にポルシェと緊密に協力して開発したJ1パフォーマンスプラットフォームをベースにしています。2021年、アウディは電動化への道を切り開く、Q4 e-tron concept の市販モデルを発売します。このクルマは、モジュラーエレクトリフィケーションプラットフォーム (MEB) を使用しています。アウディは、フォルクスワーゲンが全てのグループ向けに設計したMEBプラットフォームをベースにして、様々なコンパクトおよびミディアムサイズクラスのモデルを発売する予定です。フルサイズクラスおよびラグジュアリーモデルの場合は、プレミアムプラットフォームエレクトリック (PPE) アーキテクチャーを使用します。PPEは、独自のテクニカルレイアウトにより、数多くのハイテク技術を搭載することができるよう設計されています。

さらにアウディは、TFSI エンジン、電気モーター、リチウムイオンバッテリーが連携して作動するプラグインハイブリッドモデル (PHEV) の製品ポートフォリオもさらに拡大しています。PHEV モデルは、都市部や住宅地などで純粋なEVモードで走行することのできる、洗練された駆動管理システムを搭載しています。2019年だけでも、A7 Sportback、A8、Q5、Q7の製品ラインナップにおいて、4つの新しいプラグインハイブリッドモデルを発表しています。2020年には、さらに広範囲にPHEVモデルが追加される予定です。

アウディは、持続可能なモビリティとイノベーションをさらに促進するため、2023 年末までに約 140 億ユーロを e モビリティに投資する予定です。これらの資金は、新しい電動化モデルの開発と生産に加えて、電気自動車を取り扱うことのできる資格を持った人材の育成と販売面にも充てられます。

アウディは、原材料の採掘、生産、クルマの利用、そして再生可能エネルギーへの転換に至るまで、モデルのライフサイクル全体を徐々に CO₂ ニュートラルにするという目標を設定しました。2025 年までに、車両フリートの温室効果ガスフットプリントは、2015 年と比較して 30%削減されることとなります。アウディは、少なくとも 2050 年までに世界中のすべての拠点をカーボンニュートラルにすることを目指しており、持続可能なモビリティを実現するために全社一丸となって取り組んでいます。

本文中に掲載されているモデルの燃料消費量

(燃料消費量、CO₂ 排出量に関する数値は、ホイール/タイヤの組み合わせ、選択した装備によって変化することがあります。)

Audi e-tron 55 quattro :

複合モードにおける電力消費量 (kWh/100km) : 26.2~22.6 (WLTP)、24.6~23.7 (NEDC)

複合モードにおける CO₂ 排出量 (g/km) : 0

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。